

宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会 視察研修の記録

1 日時・場所

令和2年2月14日（金）13：00～15：10

甘楽町役場 会議室 及び 甘楽町立甘楽中学校

2 出席者

甘楽町役場教育委員会：近藤教育長

学校教務課：秋山課長、横尾主任

審議会委員：10名出席

濱本会長、佐藤副会長、上野委員、小澤委員、鶴見委員、小林委員、戸田委員、
松本委員、穴戸委員、菊地委員

事務局：中村教育長

教育推進課：大場課長、加藤主査、三反崎主事

3 現地研修①

佐藤副会長： 資料に保護者説明会とありますが、どのような意見が出たのか伺いたいです。
学校を実際に見てみれば「なるほど」となると思うのですが。無くなってしまう
地区の方からの声はどのようなものがありましたか。

秋山課長： 秋畑地区は山間地区なので三校の統合がスムーズにいったのかなと思います。
また、人口が減り続けていることも理由かと思います。通学距離は7km以上なので、スクールバスなどを提案してご了承いただけた経緯もあります。保護者からは概ね1つになることについて納得していただきました。ただし、丘の上にあるので風通しがよく、強い風で子供たちが通学するのに困るとの意見がありました。歩道の設置等のハード面は国交省と文科省、農林水産省との補助事業がありましたのでそれを取り入れて歩道の整備をしました。自転車通学を認めたことで保護者の理解を得られました。手前味噌ではありますが、部活動も活性化しました。女子駅伝大会では二年連続で全国大会出場しています。高台にある学校に毎日通っている成果があるのかなと思います。新しい中学校の近くには保育園もありますし、陸上競技場も、体育館も、福祉施設もありますので、良かったとのご意見もいただいています。

佐藤副会長： ありがとうございます。

松本委員：イラストマップを拝見いたしました。縮尺で見てみたのですがいわゆる秋畑、那須地区ですね、南西部の端から小幡小学校までが直線距離で10km以上あります。北部の開けた地域ではほとんど中学校までは2kmくらいしかないのかなと思います。宮代町は中心に持ってきて円を描くと約4kmのところに全部入ります。全長8kmほどの町です。甘楽町の場合には秋畑、那須地区というところが非常にネックだろうと思います。バスの運行という話もありましたけれども、甘楽中学校に行かれています方で福島、新屋地域の方と、那須、秋畑地区の方がいるのは大体割合でどの位の人数なのでしょう。

横尾主任： 中学校ベースでよろしいでしょうか。

松本委員： はい、結構です。

横尾主任： 生徒が320人位いる中で秋畑地区の生徒は6人くらいです。少ないですが、小学生も一緒にスクールバスに乗るので全部で10何人位乗ります。それに比べて、福島、小幡、新屋の三小学校は大体1:1:1.5ぐらい、新屋が少し多いですね。秋畑の子たちはとても通学できる距離ではないので。毎日2便ずつスクールバスを出しています。部活動もしっかり取り組んでもらって帰宅してもらう流れです。

松本委員： ありがとうございます。

秋山課長： 地区の選定をする際も秋畑が都市計画区域になっていないので、都市計画区域を中心に選定したという経緯がございます。人口減少というのが顕著に出てきている中でご理解をいただいた形です。

上野委員： 統廃合の経緯を資料で拝見させていただきました。元々あった校舎は現在どのようになっているのですか。もし活用されているのであればどのような活用をされているのか、また学校は避難所でもありますから、その部分はどのように設定を考えたのかをお聞かせください。

横尾主任： 秋畑のさらに奥に那須地区の分校がありまして、平成16年3月31日をもって秋畑小学校とひとつになりました。那須分校の体育館は地元の公民館という形で活用しています。那須の獅子舞という県の重要文化財にもなっているものがあるのですが、その方たちが主に利用しています。校舎についてはしばらく団体様に有償で貸し付けをして利用してもらっていました。建物自体も古く、木造なので趣があり今後観光面で使えたらと庁内で検討しているところです。

秋山課長： 書道の合宿をするために有償で貸していました。

上野委員： 宿舍みたいな形ですか。

秋山課長： そうですね、書を書くのに環境が良いということ。

横尾主任： 一中と二中について、一中は全部建物を解体しました。敷地の真ん中に南北に道路を入れまして、その東側に消防署を新築して3月に竣工する予定です。反対側については、甘楽町は公立の幼稚園と保育園しかありません。保育園は1つで

す。幼稚園は小幡、福島、新屋の各地域にそれぞれあるのですが、平成 26 年に 3 園を 1 園にするのが望ましいということで統合を考えています。その中で公営が良いか、民営が良いか協議をしました。その結果 2 月 4 日から民間で運営をしてくれるところがないか募集をかけたところです。その用地として消防署の反対側の道路の西側の部分を町が無償で貸しますとしているところです。秋畑地区の三中と秋畑小については利用検討委員会を開いたのですがどういう風に利用してよいか案がなかなか無いという現状です。避難所になっているという中で先日、台風 19 号が来た際には当町にも被害がありました。秋畑地区の人は近くにある交流センターもあったのですが、丘の上に福祉センターがあって、その福祉センターのところを町が改築をしまして、大勢の方がそこに自主避難しました。跡地についてもこれから町の方で検討していきたいと考えています。二中は、建物を残しました。雨漏りをしていたので改修をして、1 階を町の学童保育所として社会福祉協議会が使用しております。バスを使って各小学校の地区に迎えに行って一か所に集約して運営しています。2 階はひな人形をイベント時期にあわせて飾っています。町の施設として有効活用出来ていると考えています。

上野委員： ありがとうございます。

穴戸委員： 統廃合するにあたり、卒業生の方たちは自身の母校が無くなることを悲しく思ったと思うのですが、何か母校のモニュメントや記念品をとっておくなどの取り組みはございましたか。

横尾主任： 閉校記念誌のようなものを作成いたしました。卒業する生徒たちはタイムカプセルを埋めるなどしました。また新しい学校にも今までの歴史として賞状やトロフィー飾るスペースを作らせてもらい卒業生の方が来ていただいても良い形にいたしました。

近藤教育長： 閉校記念誌に関してあまり固くならないものを作成しました。1 年を 1、2 ページでまとめるような形で全年度を作成しました。その時の卒業生のコメントをいれるような形で、読み物的なものではなく、見やすいように。これは 1 冊 500 円で販売しています。例えば同窓会をするから 30 冊を参加した方に配りたい等で購入される方もいます。

小林委員： 実際に統合をしてみて、良い面や改善すべきだなと思う面があると思うのですが、統合した後の意見を聞かせていただきたい。

近藤教育長： 時間をかけて学校の統合を見据えた教育をしてきました。子供の教育面、学校間の交流など、連携して運営ができていると思います。引っ越しの際もボランティアで町の地域の方々が手伝ってくれました。教員の配置も中学の英語教員をそれぞれの小学校に赴任させたりもしました。

小林委員： ありがとうございます。

松本委員： 自転車の使用を認めて喜ばれているというようなお話がありました。宮代町は甘楽町様と比べると狭いと思うのですが、私共が論議した中では通学の安全面というのを一番に考えています。地図を見ると新屋とか福島の方の方は自転車を使って便利なのかもしれないのですが、安全面はどうなのでしょう。中心をみると小幡と福島、新屋の真ん中あたりに中学校があるような感じだと思います。安全面に関しては、道路の整備のことも先ほどお話がありました。安全面の配慮、整備はどんなことを取り組まれたのか伺いたいです。

秋山課長： 小幡、秋畑地区の整備が不十分だったのでそちらを中心に歩道や防犯カメラの設置をいたしました。ご指摘の通り、自転車は便利なのですが、車両なので、危険な面もございます。正直、年間何件かは甘楽中学校の生徒の事故も発生しています。学校が高台にありますので決めごととして、坂道は自転車に乗ってはいけないなどとしています。安全なところに出てから乗るように指導しています。4月に町長から、小学生は乗っているのに、中学生が学校から禁止されているのはどうだろうか。という指摘もありましたが、現場を預かる校長先生は安全面を考慮してその判断をしているとのことでした。

横尾主任： 町の通学路の交通安全推進協議会は私どもが事務局となっています。学校長、地区の区長、警察、土木事務所、そういった方々を招いて学校長から学校区の危険箇所を出してもらっています。その会議の中で危険だと判断があれば合同点検を実施します。その結果必要があれば、町の建設課や警察などに依頼をして整備をしています。

松本委員： ありがとうございます。

濱本会長： 貴重なお話ありがとうございます。資料の1ページ目で、先ほどの説明でもスムーズに進められたとのことですが、その中でも特に課題になった議論がありましたらお聞かせください。またどのように解決されたかも併せてお教えください。

秋山課長： 小学校の統合も含めて、スムーズに行われた印象です。引っ越しもやはり町民の方が手伝ってくれるなど協力的でした。記念の庭石なども甘楽中学校に配置したりもしています。

濱本会長： ありがとうございます。三校が一校になったとのことで、人間関係作り等も色んな子供たちが接することによって子供たちが大きく成長したと理解してよろしいでしょうか。

秋山課長： はい。

濱本会長： また、子供たちが切磋琢磨することによって学力的な面はどうでしょうか。学習意欲も高まっているのではないかなと思ったのですが。

近藤教育長： どちらかというと小学校は全国平均よりもポイントでやや低いところがあります。中学校はすべて全国のレベルよりも高いです。そういう面でも人数も増

えてやりがいがあり、切磋琢磨して伸びているのかなと思います。

濱本会長： 大変充実した学校経営を町行政と取り組んでいるのかなと思います。他の市町村からこの学校で学びたいと転入する方はいらっしゃるのでしょうか。

近藤教育長： 田舎では基本的には住所の学校区で通う子供が多数です。

濱本会長： ありがとうございました。

4 現地研修②

甘楽町立甘楽中学校 現地研修

